

編輯局報情

N-1-24

週報

號日一月七

昭和十七年十月一日發
昭和十七年七月一日發
日發三種郵便物認可
行
（同水曜日發行）

支那事變五周年を迎ふ
大東亞戦争と新支那
伸び行く國民政府
進む新支那の經濟建設
國民政府の外交政策

支那事變勃發五周年

五錢

299號



露光量違いにより重複撮影

国民合唱 若い力

原詞と J-92

恩田幸夫作詞
岡本俊明作曲

The musical score consists of four staves of music with Japanese lyrics underneath. The lyrics are:

 (一) 皆笑顔だ 明るい朝だ

 鉄も利鎌も 揃って光る

 山から 野良から 畑から

 若い力が盛上る

 どんと どんとと盛上る

 (二) 汗だ火花だ 燃立つ意気だ

 躍るハンマーに 機械がはび

 窓から 街から 工場から

 若い力が盛上る

 どんと どんとと盛上る

 (三) 肌はくろがね 荒海育ち

 今日も勝鬨 大漁の歌だ

 沖から 浪から しぶきから

 若い力が盛上る

 どんと どんとと盛上る

 (四) 仰げ日の丸 感謝を込めて

 職場持場で 銃後の守り

 空から 海から 大地から

 若い力が盛上る

 どんと どんとと盛上る。

今週と来週、大木土曜日午後七時半より放送

週報

第七九九號
七月一日

- 支那事變五周年を迎へて
陸軍省報道部
- 大東亞共榮圏と新支那
支那問題の重要性
- 躍進する新支那の經濟建設
仲び行く國民政府
- 國民政府の外交政策
- 米本土に深刻な脅威
大本營海軍報道部
- 戦時生産と産業安全
厚生省
- 通風塔

週 間 日 誌

- 六月十九日(金)
 - 行政調査課強化實施要綱を閣議で決定
 - 六月二十日(土)
 - 帝國潜水艦、ヴァンクーヴァー島を砲撃
 - 海軍航空部隊、ポート・マドレーンで敵の四十六機を撃墜(三日以來四日間の行、大木發發表)
 - 泰國へ突撃のため廣田外相を特派大使、矢野部保吉特命全權大使以下の使節を派遣の旨、情報局發表
 - 六月二十一日(日)
 - 帝國潜水艦、オレゴン州西海岸を砲撃
 - 獨逸軍、北アフリカを領占
 - 六月二十二日(月)
 - セバストポリ全要塞(艦隊を隊を隊)を占領の旨、獨逸當局發表
 - 六月二十三日(火)
 - 地方公共團體吏員および國民學校、青年學校教員に對する家族手当の増額(食費家族一人につき月三圓)を閣議で決定
 - 國民運動團體の統制に關する件を閣議で決定
 - 獨逸戰一年間の損害をソ聯當局發表(食糧行方不明四百五十五萬、喪失戦車一万五千、同飛行機九千)
 - 六月二十四日(水)
 - 中支軍、麗水を完全占領
 - 獨逸軍、ソルム(北アフリカ)を占領
 - 六月二十五日(木)
 - 陸軍海軍部隊、アリエーション列島のキスカ島(六月七日、アツツ島(六月八日)を占領)を掃蕩、引續き附近の諸島を掃蕩の旨、大木發發表
 - 淺間丸、日米交換外交官を収容、積荷を出帆

国民合唱 若い力

昭和十一年七月九日

恩田幸夫作詞
岡本敏明作曲

The musical score consists of four staves of music with lyrics written below each staff. The lyrics are in Japanese and describe the strength and spirit of young people during wartime.

若い力 恩田幸夫作詞

- (一) 皆笑顔だ 明るい朝だ
山から 野良から 畑から
若い力が盛上る
どんと どんと 盛上る
- (二) 汗だ火花だ 燃立つ意気だ
窓から 街から 工場から
若い力が盛上る
どんと どんと 盛上る
- (三) 肌はくろがね 荒海育ち
今日も 勝鬨 大漁の歌だ
沖から 浪から しぶきから
若い力が盛上る
どんと どんと 盛上る
- (四) 明け日の丸 感謝を込めて
戦場待場で 銃後の守り
空から 海から 大地から
若い力が盛上る
どんと どんと 盛上る

週報

第二九九號 七月一日

- 支那事變五周年を迎へて 陸軍省報道部...二
- 大東亞共榮圏と新支那 支那問題の重要性...三
- 躍進する新支那の經濟建設 三
- 伸び行く國民政府...元
- 國民政府の外交政策...三
- 米本土に深刻な脅威 大本營海軍報道部...云
- 戦時生産と産業安全 厚生省...云
- 通風塔...三

週 間 日 誌

- 六月十九日(金)
 - ▽行政部、軍力強化實施要綱を閣議で決定
 - 六月二十日(土)
 - ▽帝國海軍、ヴァンクーヴァー島を攻撃
 - ▽海軍航空部隊、ポート・ダーウィンを敵の四十六艦を撃滅(三日以來四日)の旨、大本營発表
 - ▽泰國へ答禮のため廣田弘毅を特派大使、矢田部保吉を特派大使以下の使節を派遣の旨、情報局発表(六月二十一日)
 - ▽帝國海軍、オレゴン州西海岸を襲撃
 - ▽獨逸軍、北アフリカを領占
 - 六月二十二日(月)
 - ▽セバストポリ全要塞(全部一ヶ所を除く)を占領の旨、獨逸當局発表
 - 六月二十三(火)
 - ▽地方公共團體官吏および國民學校、青年學校教員に對する家族手当の増額(後援費一入に三月三割)を閣議で決定
 - ▽國民運動團體の統制に關する件を閣議で決定
 - ▽獨逸軍、一ヶ月間の損害をソ聯當局発表(併行不明四百五十七名、機銃隊一万余名、同機行機九千名)
 - 六月二十四日(水)
 - ▽中支軍、麗水を完全占領
 - ▽獨逸軍、ソルム(北アフリカ)を占領
 - 六月二十五日(木)
 - ▽陸海軍部隊、アリエーシヤ列島のキスカ島(六月七日)、アツ島(六月八日)を奇襲占領、引續き附近の諸島を掃蕩中の旨、大本營発表
 - ▽海關九、日米交換外交官を收容、横濱を出帆

露光量違いにより重複撮影



大東亞戦下に

支那事變勃發五周年を迎へて

陸軍省報道部

大東亞戦争下に、われわれは支那事變勃發五周年記念の七月七日を迎へることになった。昨年十二月八日、米英に對して宣戰の大詔が發せられた時、政府はこれを「大東亞戦争」と呼稱し、支那事變を大東亞戦争の中に包含することに決定した。従つて支那事變といふ名稱は、公けには解消されたことになったのであるが、しかし支那事變の實質

は、何ら解消したものでもなく、軽減されたものでもない。その山つて来た處から考へてみると、支那事變のもつ意義と價值といふものは、ますます重要であることが認識されるのである。今こゝに支那事變勃發五周年を迎へるに當り、先づ以てわれわれは支那事變に燈れた幾多の英靈に對し感謝の誠を捧げると共に、いよいよ事變完遂の決意を固

めなければならぬ。

大東亞戦争の原因

大東亞戦争は、わが支那事變處理（これは延いては東亞新秩序建設といふ問題になる）に對する米英の不當な經濟的、武力的な壓迫に對し、わが帝國が自存自衛と權威のため決然として立つたために起つた戦争である。即ち大東亞戦争の直接の原因は支那事變であつて、日米交渉の極もまたこゝに在つたのである。

支那事變において、われわれは最初から敵は單に重慶抗日政権だけではなく、その背後に儼然と控へてゐるイギリス、アメリカ等の援蔣國家であることは、十分知つてゐたことである。

従つて事變を解決するためには、單に蔣政権を相手とするに止まらず、やがては米英と一戦を賭すことも、またやむを得ない重大時局が展開するであらうことは、これまた十分に豫想し、覺悟してをつたところである。

政府當局も既に今日あることを覺悟し、事變の處理もこの見地から行はれて來てゐたのである。即ち漢口作戦の終了後、わが支那事變處理は、一方において蔣政権を侵滅す

る武力作戦を續行すると共に、他方、汪精衛の新國民政府を育成強化し、専ら占領地帯の建設工作を進めて、總力戦の態勢を整へつゝあつた。即ち一面戦闘、一面建設の兩方針を行つて來たのである。

蔣政権壊滅の方策としては、専ら全支に亘る掃蕩撃滅戦を繼續する一方、海外よりする援蔣ルートに封鎖戦を行ひ、武力のみならず、經濟的にもますます壓迫の歩を進め、その努力の効果は日と共に現はれてゐたのである。

しかしながら、重慶政権を徹底的に壊滅するためには、殘存援蔣路、即ち香港、上海、或ひはビルマ・ルートを完全に遮断することが必要であつたが、これには米英との摩擦を必然に招くことになるので抑制されてゐたのであるが、しかし、時の勢ひは、好むと好まざるとに拘はらず對米英戦となつた。そしてこれは、大東亞戦争によつて始め達成されたのである。かやうに大東亞戦争は、支那事變の發展であり、支那事變の戦線が太平洋に擴大されたものに過ぎないことを、先づ第一に忘れてはならぬ。

大陸と南方作戦

大東亞戦争勃發以來、僅か半歳にして皇軍は、陸に海に

空に赫々たる武勳を樹て、光輝を世界に發揚してゐる。この南方作戦の赫々たる戦果を獲得できたのは、支那事變五ヶ年、國家内外に亘る一億國民の總力戰態勢整備の賜ものであることを、この際強調したい。

いま若し支那事變が起ることなく、大東亞戦争が勃發したとしたらば、わが帝國としては、まづ大陸における抗日軍の撃破作戦に重點を集中し、これに徹底的な打撃を與へた後、始めて南方に作戦を進め得るわけである。支那事變五ヶ年は、正に蒋介石各個撃破のために行はれた作戦であり、國家總力戰の準備時代であつたとみることが出来るのであつて、今日、南方に作戦し得たのは、全くこの支那事變の賜ものであるといふことが出来るのである。

また、北方の守り固きことも、この一の要素をなしてをり、結局、大陸の安定あつて始めて南方に發展が期し得られるのである。即ちわが帝國は大八洲を中心として、大陸に、海洋に、軍の兩輪の如く相提携して發展できるやうに國の配在が決められてゐるのである。

蔣政權の抗戦力

大東亞戦争は、わが帝國を指導者として大東亞諸民族を

給が完全に遮断された今日、今後これを如何にして裝備するかは、重慶軍當局にとつて頭痛の種である。

被服も既に不足を告げ、冬季においてさへ冬服が未だ支給されてゐないやうな部隊もある。

また軍隊一般の士氣は、多年に亘る連戦連敗に、日本軍に對しては絶対に勝ち得ないと觀念してゐるが、しかし、さりとて、いま直ちに反戦反軍的となり、叛亂を起すといふ程にまでは至つてゐないといふべきであらう。

勿論、蒋介石は督戰隊、監察網を嚴に張り廻らして監視を怠らず、また最近しばしば軍隊の軍紀保持、士氣振作に關して訓示を出してゐることによつても、今後この點が相當に懸念されることは明らかである。しかし大體において重慶支那軍は、蒋介石の統率下に今なほ消極的な抗戦能力を保有してゐるものとみることが至當であらう。

二、經濟力

重慶の抗戦經濟は、悪化の一路を辿り、窮乏のどん底に喘いでゐることは、しばしば報道されてゐるが、さらにわが南方作戦の進展に伴つて英米陣營より完全に分断された今日、その窮乏は數段と深刻化したことは、勿論のこと

打つて一丸とし、以て英米の壓迫と搾取から東亞を解放し、諸民族をして幸福な生活を得させるにあるのであつて、この正々堂々たるわが旗幟に對し、東亞の諸民族は一樣に歡喜し、一致提携して大東亞戦争の遂行に協力しつゝある現況である。

しかるに、憐れむべき頑冥固陋な蔣抗日政權は、我が眞意を曲解し、今なほ四川の奥地に殘存して英米の援助を頼み、無益な抗戦を繼續してゐる現況であつて、これこそは大東亞戦争における内部の痛である。

次に蔣政權の抗戦能力を、一應検討しよう。

一、軍事能力

蒋介石軍は、現在なほ總兵力三百万を保有してゐる。これは武漢作戦以後、四期に分つて整備訓練計畫を立て、極力兵員の補充訓練を行ひ、大體において兵員の補充は付いたものやうである。しかし肝腎の軍の素質は非常に低下し、特に兵器の補充は、現在うまうま行つてゐない。即ち小銃、機關銃、迫撃砲程度の小兵器は、何んとか奥地の工場で製造、補給できる狀況であるが、火炮、自動車、戦車、飛行機といった近代戰に不可欠な重兵器は、外國から輸入して補充するより途はないのであつて、外國からの補

である。

ラングーン陥落直後の三月十八日に重慶外交部は「ラングーン陥落に因り重慶は對外補給路を悉く断たれた結果、從來とは比較にならぬ苦痛と犠牲とを拂はざるを得なくなつたことを、重慶民衆は覺悟しなければならぬ」といつてゐることに徴しても、重慶當局が如何に深刻な苦惱を感じてゐるかが察せられる。これが打開の途としては、一には奥地の開發、二には他の援將路の發見あるのみであるが、共に實現の望みは極めて薄いのである。

重慶の本年度豫算は、百六十五億元であり、このうち經常収入は六十五億元、残りの百億元は公債の發行と法幣の増發によつて賄はざるを得ないのである。しかし公債の消化力は、どんなに強行政策をとつても二十億元以上を望むことは至難である。また一方、強制貯蓄なども十億元以上は困難といはねばならない。従つて今年度財政補填のためには、少くとも百億元の法幣増發は必至とみられるのである。いま假りに本年度の赤字補填のための法幣増發を百億元とすれば、本年末までの法幣發行額は、まさに二百四十億元程度に上るわけで、さらに新政府儲備券の發展、舊法幣の驅逐策に伴つて約三十億元と推測されるものが奥地

に逆流し、これまた重慶金融諸政策に悪影響を與へることは必然である。

去る四月の法幣の對米價値は、既に戦前の四十分の一に低下してをり、大東亞戦争に基づく輸入の全面的停頓、輸送力減退による物資の偏在、財政缺陷の窟らす法幣増發、占據地法幣の奥地流入等により、彼等の必死の統制にも拘はらず、奥地物價、特に舶來品、綿糸布、日用品、藥品、食料品等は急激に昂騰しつゝある。

従つて民衆の不平不満は、物價の暴騰に對して特に甚だしく、今後、物資の不足は日と共に深刻化し、如何に生活力低き鈍感な支那民衆も、遂にはこれに堪へられなくなるのではないかと思はれるのである。

要するに、重慶政權の財政は、大東亞戦争によつていよいよ崩壞の前夜にあるものと考へられる。しかし、これが直ちに崩壞しない所以は、一に支那の特性にあるのであつて、支那の經濟組織が原始的であること、民衆の生活程度が極めて低いこと、蒋介石の統率力が今なほ物をいつてゐること等をあげることが出来る。しかしながら、若しその一でも、缺陷を暴露したならば、明日はどうなるか分らないといふ誠に危い状況にある。

三、思想

蒋介石の抗戰建國を中心とする戦争思想は、大東亞戦争の勃發によつて、既にその意義を全く失つたのである。大東亞戦争は大東亞の解放戦である。大東亞民族の共存共榮を目的とした聖戦である。ところが、これに對する蒋介石の抗日思想は、極めて偏狹な排他的民族主義であつて、これは我が大東亞戦争の目的に比較すると問題にならないほど時代遅れの考へ方である。今日、支那の民衆、特に若い學生、青年層の中に、漸く今日の事態を反省する氣運が現はれて來たことは、われ／＼東亞民族にとつて誠に喜ぶべきことである。

しかし、今なほ英米の最後の勝利を盲信し、或ひは希求し、依然として抗戰を繼續すべしといふ考へも根強い力をもつてゐるのであつて、われ／＼としては、どこまでもわれわれの眞意を支那四億民衆に徹底させるやうに、今後とも大いに努力しなければならぬのである。

以上、重慶の抗戰力を検討したが、五年に亘る我が軍の奮闘の甲斐あつて、重慶政權のあらゆる部面が一年と戦力を低下してゐることは顯著であつて、今後さらに一層

これに壓迫の手を加へたならば、つひには屈服せざるを得ないことは明らかである。

米英と重慶

大東亞戦争によつて全く孤立となつた重慶と米英とが今後如何にして手を把つてゆくかは極めて興味ある問題である。蒋介石の保護者、親権者を以て任ずる米英の實情をみるのに、米國は戦争開始以來敗戦に敗戦を重ね、戦争準備の不十分であつたことを暴露し、その缺陷の補整に汲々たる有様である。

たとひ大なる生産力を發揮し軍需品を生産することは出来るとしても、先づ英國を助けなければならぬ。次に危いソ聯を助けなければならぬといふやうに歐洲に重點を用ひざるを得ない。それに帝國海軍の縱横無盡の活躍に撃つたされて海外輸送そのものが極めて困難で、如何に宣傳しても實行がこれに伴はないといふことにならざるを得ない。

次に英國をみると、これは歐洲、北阿、西阿方面の防備にさへ力が不足して苦しんでゐる現状である。それに船腹の不足から對蔣援助の如きを望むは無理な話といはなけ

ればならない。

元來、米英の援蔣なるものは、本腰になつて重慶を援助する意志は毛頭持つてゐない。僅かに局面を糊塗するためまた重慶を悲觀させない程度に關心を持たせつゝ、自國軍備生産力の強大と援蔣の空宣傳を以て抗日戦に狂奔させ、重慶を飽くまで對日戦に利用してゐるのである。他國、他人の犠牲において自己の利益を擁護する米英獨特の傳統政策から一歩も外れるものではない。

それ故、重慶政權内部においても米英に對し不平不満の聲が起つてゐる。三月中旬、大公報は米英に對し、空虚の言は避けざるべからず、「英米が支那の反抗に依存することが餘りにも大きいのに失望させられる」と毒付いてゐる如きその一例である。

蔣も世界情勢の變轉、米英の本質を今こそ見極め得て、心私かに後悔してゐることであらう。

國民政府の育成

支那事變の處理の一環をなすものに、國民政府の育成強化の問題がある。帝國は昭和十五年十一月、汪精衛を

首班とする國民政府を正式に承認し、日支基本條約を締結し

東亞において道義に基づく新秩序を建設する共同の理想の下に
藩籬として緊密に相提携し、以て東亞における恒久的平和を確
立し、これを核心として世界平和に貢獻せんとす
といふ東亞新秩序建設の大理想を嚴守し、さらに日滿華共
同宣言、滿支兩國相互承認によつて日滿支三國の提携を具
體的に嚴守して以來、こゝに僅か一年有餘、わが帝國の指
導援助の下、汪主席以下の獻身的な奮闘努力によつて、政
府としての實力を着々として收めてをる。國民政府を承認
した外國は、既に十一ヶ國の多きに及び、獨立國としての
面目を如實に具備した。わが帝國は、まさに汪精衛首席の
來朝に際し三億圓の借款を許容し、さらにまた大東亞戦争
によつて獲得した天津および廣東の英國租界を國民政府に
委譲し、以て國民政府の帝國に對する期待に應へ、その
育成強化を援助してゐる。

大東亞戦争に當つて國民政府としては、先づ速かに國
内の治安を確保し、諸般の建設復興に努めて、帝國の負擔
を軽減することが肝要であるので、汪主席以下は、治安
の確立、軍力の増強、生産の増強の三大目標に向つて全力

を盡し、去る五月二十七日、舊法幣を儲備券と二對一の比
率を以て交換し、法幣を驅逐することに成功したことは、
通貨戦に勝利を獲得したことを意味し、國民政府は財政
的にもいよゝゝ確乎不動の地位を獲得することになり、
前途はいよゝゝ洋々たるものがあり、われゝゝとしても
洵に慶祝に堪へないところである。

大陸建設の現況

大東亞の經濟建設は、日滿支を根幹とし、これに南方諸
地域を加へることは、しばしば政府の聲明せるところであ
る。特に大東亞共榮圈を確立するための大東亞戦争の遂行
途上、大陸資源の占める價值は極めて大きなものがある。
支那事變以來、支那の經濟開發に對して投資された額
は、既に約十五億圓に達し、重要國防資源の對日輸送は、
我が總需要量の三割餘に當つてゐる。

なほ鐵礦石、製鐵用として不可欠の粘結性炭は同じく總
需要量の三割を占め、屑鐵、屑銅、重石、螢石、雲母、燐
礦石等の地下資源、棉花、羊毛、牛皮等の農畜産資源から
工業鹽に至るまで、戦争遂行に最も重要な原材料は、相當

を確信し、堅實な決意を以て大東亞戦争を戦ひ抜かなけれ
ばならない。

陸軍省報道部では、支那事變勃發五周年に際して、同報
道部監修、文化奉公會編を以て左の冊子を發行すること
になった。

大東亞戦争と支那事變

—支那事變勃發五周年を迎へて—

支那事變は大東亞戦争の緒論であり、結論であり、そ
の中核である。日本に課せられた不變の課題は、飽くま
で支那事變の處理にある。
大東亞戦争と支那事變の關連性と事變處理の重要性を
次ぎの七章に分つて明確適切に説いたのが本冊子であ
る。

- 第一章 支那事變から大東亞戦争へ 第五章 大陸建設の現況
 - 第二章 大陸の安定と大東亞戦争 第六章 滿洲國の發展
 - 第三章 殊死の抗戦力 第七章 大東亞戦争の將來
 - 第四章 國民政府の發展 第八章 國民政府の發展
- 序文、大本營陸軍報道部長谷本華雄大佐「開戦後の
支那戦線と重慶」卷頭言「かゝる如く戦と文化奉公會
副會長櫻井忠温少將 附録「支那事變・大東亞戦争經過
日誌」七月一日發售・定價三十錢 發行所、川漢堂小什字七

大東亞戦争と支那事變

量が供給されてゐるのである。
今後さらに日支兩國の完全な協力の下に、農業・工業・礦
業の國防資源の獲得から交通・貿易・通貨の諸部門に及ぶ
支那經濟建設工作は、いよゝゝ活潑の度を加へ、大東亞
共榮圈の根幹として新生支那の地位の向上に伴ひ、南
方と共にますますその經濟的價值を發揮することであら
う。

以上、大東亞戦争における支那事變の意義と、大陸の價
値について大體を述べたが、支那事變處理即ち大東亞戦
争であり、大東亞戦争の遂行即ち支那事變の處理といひ得
る程に、兩者は密接不可分のものである。
大東亞戦争全般の推移から考へてみると、戦局は今や漸次
靜まり長期建設戦の色彩が濃厚とならうとしてゐる。戦争
は前途深刻な長期戦となるであらう。従つて今後は、前線
戦後ともいよゝゝ一致して長期苦難に堪へ、敵に乘する隙
を與へないやうにしなければならぬ。と共に徒らに戦果
を夢みて安易な偷安を欲することなく、前途に必勝の希望

大東亞共榮圏と新支那

支那問題の重要性

……大東亞共榮圏建設の三大課題の一としての支那問題……

大東亞共榮圏建設の第一課題としての米英の擯滅は、無敵陸海軍が着々と遂行しつつある。第二課題としての支那の政治的建設とその國防資源の開發は、第三課題である南方經濟開發と共に、今後に残された重大課題である。

大東亞戦争の勃發により、支那事變の重要性は一層大きく、且つはつきりと浮び出して來た。支那事變は實に大東亞戦争の鍵である。それは戦争遂行の上からも、大東亞共榮圏の建設の上からみてもさうである。

米英がその東亞制覇の野望を達せんとするに當り、最も邪魔になるのは、東亞の二大國である日支の結合である（英國は歐洲大陸では常に獨逸相闘はしめる陰謀を圖つて來た。そこで、彼等は先づ日支兩國の離間を策した。即ち

第一段階として大正八年以來、支那の排日を煽動し、苦心積慮して日支離間の目的を達するや、さらに第二段階として日支をして相戦はせ、東亞の力を減殺しようとし、蔣政権と結んでその抗日にあらゆる援助を提供して來

た。かくて二十年間の米英の陰謀が成功するや、第三の段階としては、支那事變をなるべく長期に亘らせ、東亞の核心たる日本の國力を減耗させ、併せて支那の破壊を進めようとし、そのために武器、資金の供給が絶えず行はれた。

大東亞戦争が勃發するや、東亞に陸軍をもたない彼等は、重慶の陸軍を利用して我が陸軍を牽制し、併せて重慶政權の勢力下にある地方を彼等の航空基地たらしめようとし、またビルマ、インド方面の作戦において、英支聯合軍の編成をみるに至つた。重慶は東亞に残された唯一の米英戦線であるから、支那事變が解決した場合は、米英の東亞における戦線は消滅し、米英勢力は東亞から一掃されることになり、さらに進んで、日支の完全な協同提携が行はれた場合には、英國の南方戦線は壊滅し、インドの向背も明らかとな

り、日支印の提携へと進む可能性が生れて來て、日本は専心米英の打倒に邁るから、戦争完結に貢献すること極めて大である。さらに大東亞新秩序の建設から見た場合、支那が東亞共榮圏建設に積極的協力するや否やは、來るべき新らしき世界における支那百年の地位を規定する支那自身の重要問題であると共に、大東亞共榮圏建設の時間的遅速に重大な關係を持つのである。

また文化的に見れば、支那は四千年の長い文化を有し、唐代文化の如きは遠く歐洲までも及んだ。大東亞の文化系統は、わが神代以來數千年の、純乎として常に新たなる傳統的日本文化と、支那四千年の民族文化及び數千年のインド文化の三大系統に分つことが出来る。この日支の東洋文化の發揚により、世界人類の上に新しい文化を齎らさねばならない。

さらに經濟的には、支那は四億の購買力を有してをり、資源としては農産物を主とし、米は世界第一の大生産量を有つてゐるが、これは自國の需要に足らず、南洋から供給を仰いでゐる。棉花に至つては、インドと共に大東亞の二大産地であり、さらに生産増加の可能性は十分にある。なほ近代化學工業に不可欠な塩の大きな産額も極めて重要な意味を持ち、地下資源としては國防資源として不可欠のアンチモニー、タンングステン（世界産額の七〇％等は他に求め難い世界の主産地であり、鐵、石炭も大いに期待すべきであり、大東亞共榮圏内においてその地理的接近性と南方に求め得ない種類の重要な基礎的國防資源を有する點で經濟的に極めて重要な地位を占めてゐる。交通方面よりみれば、南方の據點昭南港に至る唯一の陸路は大陸を通じてのみ可能なのである。

さらに經濟的には、支那は四億の購買力を有してをり、資源としては農産物を主とし、米は世界第一の大生産量を有つてゐるが、これは自國の需要に足らず、南洋から供給を仰いでゐる。棉花に至つては、インドと共に大東亞の二大産地であり、さらに生産増加の可能性は十分にある。なほ近代化學工業に不可欠な塩の大きな産額も極めて重要な意味を持ち、地下資源としては國防資源として不可欠のアンチモニー、タンングステン（世界産額の七〇％等は他に求め難い世界の主産地であり、鐵、石炭も大いに期待すべきであり、大東亞共榮圏内においてその地理的接近性と南方に求め得ない種類の重要な基礎的國防資源を有する點で經濟的に極めて重要な地位を占めてゐる。交通方面よりみれば、南方の據點昭南港に至る唯一の陸路は大陸を通じてのみ可能なのである。

また国防上からは、日本が大東亜の海正面を占めてゐると共に、支那は大東亜陸正面の大部を占め、西北はソ聯

に、西南はインドに接し、その陸正面における役割は重大なものである。かくして、来るべき新らしき世界誕生に一心事ではなければならぬ。

役を擔はうと汗の努力を續けてゐる新國民政府の育成如何は、最も重大な關心事ではなければならぬ。

進む新支那の經濟建設

大東亞經濟圏の創造は、いふまでもなく日滿支を根幹として大東亞の綜合的經濟力を發揚し、大東亞防衛に必要なる自主的國防經濟の完成を根本方針としてゐる。従つて新支那の經濟建設もこの基本的目標に即應した方向に推進さるべきである。

を、海外から仰ぐ状態であつたが、大東亞が勃發するに及んで、食糧自給體制の強化、確立はいよゝ重大な任務となり、新政權の誕生以來、食糧増産には懸命の努力が拂はれて來てゐる。

れ、優秀な日本農業技術の指導の下に主要農作物の試験研究、改良増殖、技術員の養成等を行つてゐる。特に北支では、華北交通株式會社による鐵路愛護村運動は沿線農民の福利増進に寄與し、棉産改進會の鑿井をもつてする灌漑事業に協力してゐる。また荒蕪地、アルカリ地の土地改良を行ふ華北墾業股份有限公司(昭和十六年三月設立)の事業は、食糧増産の一翼となり、さらに北支農業の根幹をなす治水事業も、稠密な調査研究を遂げ、既に部分的に起工されてをり、日本の卓越した技術によつて洪水や旱魃の惡條件を克服する日

資源

農産——支那はもともと農業國であるが、食糧は自給できず、北支では主食糧である小麦粉、雜穀を、また中支では米

即ち北中支を通じて農村合作社の運動が展開され、疲弊した農村の復興をめざす春耕資金の融通、物資交易の仲介に活動を續け、また農事指導の中心機關として蒙疆に中央農林試驗場(昭和十五年一月)、北支に華北農事試驗場(昭和十一年九月)、中支に中央農墾實驗所(昭和十五年六月)がそれゝ設立さ

諸炭礦で産出されるが、その品質は極めて良好で、佛印の鴻基炭に代り得るものである。その他には燃料炭として大同炭がある。これら北支の炭礦は、長城附近を始め津浦、膠濟、京漢の各鐵道沿線に廣く分布されてをるので、交通の開發と相俟つて出炭實績を向上してゐる。現在、運営されてゐる獨立の炭礦は、山東鑛業株式會社と共興炭礦股份有限公司との所屬のもので、他は各炭礦と北支那開發株式會社の共同出資による組合で稼行してゐる。なほ、この組合に屬するものには中興、大汶口、山西、磁縣、焦作、柳泉の各鑛業所があるが、大東亞戰爭勃發後、英支合辦であつた開灤炭礦が我が方に接收されたが、十億トンの埋藏量を有し、しかも質量ともに断然優越を占めてゐるだけに、同炭礦の接收は新秩序北支の炭業に大きな力を與へることになつた。

が期待されてゐる。

次に主要な農産資源についてみると、大東亞資源圏の建設のため支那棉は最も重要なものである。事變前支那棉花は北、中支ともそれゝ匹敵する産額をもつてゐたが、北支棉は戰禍、旱水害、食糧不安による作物轉換、棉花買付價格の低位等のために非常に減産したので、この対策として棉花價格の引上、棉農の生活改善、灌漑用井戸の増強等の真剣な増産政策が行はれたが、その効果は昨年當りから次第にあらはれ、事變前の水準に近づき、さらに昭和二十五年には、これまでのわが國の全消費量を超える生産額に達する見込である。

また小麦は、在支日華製粉會社を會員とする華北小麦協會(昭和十五年六月設立)が北支産の増加改良に努めてをり、また羊毛も蒙疆では家畜防疫處、畜産試驗場、種畜牧場等が、また北支

では華北羊毛改進會(昭和十五年十一月設立)が創設され、それゝ細羊の改良と増産に不斷の前進を示してゐる。

鑛産——自主的國防經濟の建設に重要な鑛産資源のうち、支那における石炭の埋藏量については、いろゝな數字があげられてゐるが、凡そ二千億トンを超えるといはれ、その五六%は北支(蒙疆を含む)によつて占められてゐる。北支諸省の石炭埋藏量のうち一億トンは山西一省に存在するが、その産額は交通その他の條件に阻まれて河北、山東兩省には遠く及ばない。

次に北支産を炭種別にみると、製鐵用粘結炭、非粘結炭、高級無煙炭の各種を含み、品質も極めて良好である。このうち製鐵用粘結炭は、非煙、正豐、中興、開灤炭が主産地で、硫黄分が比較的少ないこと、粘結度が高いことは、内地炭を遙かに凌駕してをり、無煙炭は陽泉、焦作、沁心、門頭溝の

足したのであるが、果して龍烟の鐵
とともに興望の興望を措つて重要な役
割を演じつゝある。

次に鐵は、この蒙疆龍烟のほか山東
省金嶺鎮や山西省等にも産し、さらに
礬土頁岩、螢石、重石等も北支の重
要な鑛産資源である。また中支揚子江
沿岸には、良質の鐵、石灰、螢石、マン
ガン等が豊富に埋藏され、鐵は湖北、
安徽、江蘇、浙江の各省に分布し、品
質五〇%以上の優良なもので、揚子江
の舟運の便とともに他の道徳を許さ
ない。この開發には日華合辦の華中鑛
業股份有限公司が當り、馬鞍山鑛業所
の復舊と擴充に好成績を擧げてゐる。
また上海中心の揚子江流域におけるボ
イラー用炭として重要な地歩を占める
淮南炭礦も、銳意増産に努め、その他
九龍崗東西兩礦、大通礦の復舊、擴張
もめざましい發展振りを示してゐる。
さらに、海南島にも豊富な鑛産資源が

あつて、新支那の建設に礬石の基礎を
與へてゐる。

塩——食糧と共に、戦時下に最も
必要なものの一つである我が工業塩の供
給は、第三國からの輸入が杜絶した今
日では専ら支那塩によらねばならず、
その期待はきまはめて大きい。支那塩田
は長蘆、山東、青島、淮北等を主要地
帯とし、支那事變後一時殆んど荒廢
に歸したが、北支開發、中支振興兩會
社の子會社である華北塩業、華中塩業
會社等が設立され、この經營の下に荒
廢塩田の復舊、新規塩田の開發が急速
に行はれ、また海南島の新規塩田も開
設されて、自給度は急激に高まつて來
てゐるが、塩は支那民衆の生活必需品
資として、殊に宣撫工作には缺くこと
の出来ないもので、その需與するところ
は、蓋し甚大なものがある。

電力——電力の充實は、資源開發
の基本的な課題であるので事變以來

新支那の全域に亘つて擴充強化され
て來てゐる。

まづ北の方から見ると、蒙疆では張
家口に蒙疆電業株式會社(昭和十三年五
月設立)が資本金六百万圓を擁して、
蒙疆地域一圓における電氣事業の發達
統制を圖るために發送電事業の經營に
着手した。この地域は、概して治安の
回復も早く、また有名な大同、下花園
炭礦、龍烟鐵礦といった寶庫を控へて
ゐるので、その開發に即應するため、
昭和十四年七月に資本金を一躍三倍に
増額し、さらに昭和十五年一月には、
この開發に要する電力の應急設備を完
成、引續き本格的な設備を進め、昭和
十六年度には大同、下花園、包頭等に
發送電所を新増設する等、設備の増強
は日に新たなるものがある。

北支では、京津冀東地區に華北電業
股份有限公司(資本金一億圓)があり、
山東地區には芝罘電業股份有限公司

(在芝罘、資本金二百万圓)を始め、附近
に博山、大汶口の炭礦を控へる濟南電
力股份有限公司(在濟南、資本金四百万
圓)、膠濟電氣股份有限公司(在青島、
資本金八百万圓)があつて、その地方に
おける電力供給の一元化を圖ると共
に、産業建設に協力し、發電力の増強
に努力してゐる。

特に華北電業は、山西、河北、河南
に亘る十六ヶ所の軍管理電燈廠を受託
經營(このうち十軍管理は昨年七月に解除
されたもの)し、その電力供給地は北
京、天津、唐山等の北支政治經濟の中
心地から歸德、運城にまで及んでゐ
る。しかも産業開發の進展に伴ひ、電
力の需要はますます増加するばかり
で、この要求に應ずるため火力發電の
増強を圖る一方、水力發電の計畫を進
め、早くも灤河の水力發電の起工を
見、近き將來には火水併用の一大飛躍
さへ期待されてゐる。

以上の蒙疆と北支における電氣事業
諸會社は、すべて北支那開發株式會社
の子會社であるが、中支における電氣
事業は、中支那振興株式會社の子會社
によつて經營されてをり、この關係か
ら昭和十三年六月に華中電氣株式有限
公司が設立され、中支電氣事業の一元
的統制を目的として發送電の經營に當
つてゐる。

中央における電氣事業は、事變によ
つて多大の損害を被り、殊に發送電設
備の被害は甚だしかつたが、その後資
材難を克服して銳意復舊に努力した結
果、現在では殆んど事變前の状態に復
してゐる。この會社の經營區域は、軍
管理のものを入れると、上海を始め蘇
州、常州、鎮江、南京、蕪湖、杭州、
松江、揚州、安慶、九江、漢口、武
昌、南昌、廬山、嘉興等、中支全域に
擴がり、特に支那第一の工業都市上海
を控へてゐるだけに、業績の發展も顯

著なものがあり、電燈、電力の需要も
逐年増加の一途を辿つてゐる。これに
對して同社では設備の復舊から改善、
新設へと邁進しつゝある。

以上の諸會社のほか、なほ上海、天
津、北京には大東亞戰爭の勃發によつ
て我が方に接收された米英系の電力會
社があるが、そのうち上海電力は、
規模も相當大きなものである。これ等
接收の諸會社には現在、それ／＼監督
官を派して經營させてゐるが、將來は
軍管理の下に移されて經濟建設の一役
を擔當するものとみられる。

交通

鐵道——鐵道の復興
は、軍の作戰と並行し、
占據地域の確定とともに
ほゞ完了し、同時に新線
の建設も戦火の餘燼のう
ちから起工されて、既に幾多の新線が
開通し、なほ引續き建設されつゝあ
る。復興線の延長は全支約一万一千キ

口の六割強に當る約七千キロに達し、さらに新設線の延長は八百五十八キロに及んでゐる。これ等の新線のうち京古線、北同蒲線、石德線は、それ／＼北京—熱河—滿洲間、山西省北、中部間、および津浦、京漢兩線間を結ぶ幹線的な性質をもつもので、建設區間も長く、特記に値するものである。

次に鐵道の經營狀態は、作戰の一段落、復興のほゞ完了とともに眞剣に考究され、昭和十四年四月、北支に華北交通、中支に華中鐵道の兩會社を創設、それ／＼一元的に運營されてゐる。兩社の分野は津浦線蚌埠を以て劃され、華北交通は北支、蒙疆で約六千キロ、華中鐵道は主として揚子江下流三角地帯で約一千百キロを經營してゐるが、それ以外に漢口附近と廣東附近の鐵道約七百五十キロは、純然たる軍管理下に運營を續けてゐる。なほ新線の建設は今までのところ華北交通の分野に限ら

れた形で、華中鐵道の方には未だ新設をみないが、同社の淮南線(淮南與の鐵道)の復舊は、工事の實質上、新設に優るとも劣らぬものがある。また現在、工事中のものも時局の要請により運炭線に全力を傾注する關係上、すべて北支に在るが、そのうち大同炭を塘沽新港に輸送すべき同塘線の新設は、大きな成果が期待される。

水運—事變、特に大東亞戰爭勃發以來、水運は最も著しい變動をみた。即ち多年に亘つて弱を唱へた英船の没落、漸く發展の途上に在つた支那船の頽落に代る日本船の歴史的な優勢を以て、支那水運の新たな歴史が綴られることになつた。水運新體制も鐵道と同様に、昭和十四年には早くも基礎的な整備を終つた。即ち同年八月、日本各社の日支間および支航路、その就航船舶ならびに在支碼頭設備等を統合、これを基礎として國策會社東亞海

運會社を創設し、揚子江を含む支那水域海運の大動脈とし、それに培養線として中華輪船公司と上海内河汽船會社を配し、脈搏つ支那水運の一大體系を整へたのである。

航空通信放送—事變前、支那の航空事業は、殆んど全く獨米兩國資本によつて壟斷され、日本の勢力などは微々たるものであつたが、事變後、外國の勢力は、新支那の領空から完全に掃蕩され、日本側の全面的な進出となつた。即ち昭和十三年末には、中華航空會社が創設され、さらに翌十四年秋には擴充整備されて、次第に航空路を伸長、今日では新政權下の重要都市を完全に空路で結んでゐる。また通信と放送の分野も、事變による敵側の破壊を極めて迅速に復舊し、さらに擴充擴大して時局の要請に應じ、走馬燈の如く移り行く時代の變遷推移を電波に乗せ、世界史創造の輝ける觸角としての負責

融金

を果しつゝある。
財政—國民政府の財政綱領は、健全主義であり、赤字を出さないといふ方針であるが、しかし消極退却ではなく、收支の許す範圍で事業を起し、無理をせぬといふ意味である。健全主義をとりながら、昨年下半年における豫算は、一昨年四月の還都當時に比較すると、月額二千三百萬元の増加であり、しかもなほ赤字を出さず、剰餘金を生み、昨秋には、これを以て公務人員に對する増俸を行つたほどである。昨年一月、中央儲備銀行の創立當初、敵性國人間には、財政部が銀行を利用し、結局インフレーションを惹起するとの懸念があつたが、今日に至るまで財政部は、中央儲備銀行から一元の金も借りず、財政のための通貨膨脹はなかつた。そればかりでなく、中央儲備銀行の

資本金自體が國民政府の財政剰餘金で拂込まれてをり、また財政の裕なことは獨り國民政府にのみ限らず、蒙古聯合自治政府、華北政務委員會でも同様である。
北支についていへば、行政の浸透は地域的に次第に廣くかつ深くなり、昭和十五年の縣數は三百六十縣であつたのが、十六年度には實に三百九十九縣となり、その財政収入も十五年度一縣平均収入十二万六千圓、十六年度二十三万二千圓と累増してゐる。

さらに歴代支那政府の最大財源をなす關稅收入をみても、新支那側の財政状態が如何に豊富であり、恵まれてゐるかが窺知できる。昨年度は米・英・蘭印の對日支資産凍結に次ぐ大東亞戰爭の勃發によつて、支那の對外貿易は、落潮であつたのにも拘はらず、全支の海關稅收入は五億四千百餘萬元と前年に比べて六千六百萬圓、即ち一割三分

の増加であつた。そして、この極く一部分が重慶政權によつて抑留され、また或る部分は借款關係に廻はるから、その全部が新政府の収入にはならないが、しかし政府財政の紐々たる餘裕を語るには十分である。

貿易—米、小麦および麥粉が農產國支那の主要輸入品として驚くべき事實を提示してゐるが、それは専ら交通の不便から生じてゐる。支那の對外貿易額は、勿論、年によつて増減があるが、事變前の狀態で輸入十五億圓、輸出十億圓程度であつて、慢性的な入超を續けて來た。この輸入額の大約四分の一が食料品の輸入で占められてゐた。また發達した近代工業を有たない支那は、重工業も大したことはなく、輕工業もその規模が中小工業の程度である。従つて、食料品の輸入に次いで各種の製品が支那輸入貿易の重要な地位を占め、農產國支那の對外貿易

への依存度は非常に強いものとなる。従来この對外貿易額の三分の二は、日英米三國で分けあつて来たもので、日英米いづれかの貿易の消長は、全面的に支那の對外貿易の増減を決し、またその一國の減退が他國の増加で補はれて、三國全體としては何等の増減も起さず、結局、日英米三國が支那對外貿易額の三分の二を占めるのが常態であつた。そして、この常態に終止符をうつた事變の進展、大東亞戰爭の勃發は、支那貿易の傳統に急角度の轉進を要求するものとなつた。

大東亞戰爭勃發後、支那貿易に課せられた使命は、まづ最小限の物資の輸入確保と、餘剩物資を日滿兩國と新支那の他地區になるべく多量に輸移出することであつて、かやうな使命は戦力培養といふことから起るのである。即ち大東亞戰爭の勃發とともに、従来とつて来た各區域間の貿易の均衡調整を導く消極政策は一擲され、必需物資、重要物資の最大限の活用を圖るべき交流促進に重點が置かれることになつたのである。

新支那としては、日本で総合的に決定される物資交流計畫に對應して自己の計畫を定め、自ら餘剩物資をより多量に蒐荷して需要を充すとともに、物資交流計畫に基づいて區域各地に輸出さるべきものとなり、中南北の各支那と蒙疆の各地域間においても同一の状態を造り出さねばならなくなつた。即ち支那の貿易面における大東亞經濟圏的性格は、戦力培養の經濟建設に規制されて、新たな脚光を浴びて浮び上つて来たのである。

すでに確定されてゐた點に根本的な力がある。即ち昭和十六年度末現在で、蒙疆銀行は預金七千四百萬圓、貸付二億四千萬圓、蒙銀券發行高一億一千四百萬圓を以て蒙疆金融中樞としての機能を完全に果してゐる。また北支の中國聯合準備銀行は、預金四億二千二百萬圓、貸付四億四千萬圓、聯銀券發行高九億六千六百萬圓を示し、北支經濟の一段の整備と相俟つて、金融部面における中樞的な地歩を占める聯銀の極めて

健全な發展振りを明らかにしてゐる。さらに中央儲備銀行は、預金六億二千萬圓、貸付四億四千八百萬圓、新法幣發行高二億六千萬元に達し、支那經濟の心臟部たる上海を背景とし、正に躍進的な業績をあげてゐる。これら三發券銀行の健全な發展を土臺として米英勢力敗退後の新支那金融構造は出来上つたのである。このうち中央儲備銀行は、いま八億元突破の新法幣を發行し、舊法幣に最後の宣告を下し、中支から更に南支の全域に及ぶ

新法幣一色化の金字塔をおし立てるに至つた。以上のやうに、政治・經濟・文化・軍事、殊に天然・人造各資源の開發を始め、交通・金融の各部門において戦力培養を基本的な目標とする新支那の經濟建設は、たゆまぬ努力と不斷の前進を續けてゐるのであるが、これこそ新支那が大東亞經濟圏の創造の重要な一翼として、その受けもつ使命にこたへて大東亞戰爭の完遂へ協力する偽らざる夢である。

伸び行く國民政府

國民政府の遷都以來一年有餘、この間において國民政府は、和平反共建國の旗印の下に着々と施設を進めて来たが、大東亞戰爭勃發するに至るや、この新環境に合する如く、その方向を定

めて来た。その要旨は江精衛の大東亞戰爭に對する聲明中の次ぎの數句により明らかである。「國民政府は條約を尊重し、また東亞新秩序建設の共同目的を實現せんが

ため、日本と甘苦を共にし、また確乎不拔の精神を以てその難局に臨むことに決した。凡そ我が人民は、須らく中國の安危は東亞の安危と不可分のものであること、即ち支那の安危と不可分



のものであることを認識し、さらに海外の僑民が、共にその主旨を體せんことを望む。植民地に加へられてゐる經濟生活の極端を打破し、東亞の共存共榮を實現するのは、正にこの時である。宜しく臨時隨地に、日本と協力して、この目的を完全に到達せしめなければならぬ。

以下、各方面に亘り、國民政府育成の概況を説明しよう。

こゝ一年有餘の間に、國民政府は先づ治安維持のため清鄉委員會を組織し、汪主席自ら委員長に、李士群（江蘇省政府主席）を秘書長に任じて麾下軍警を率へ、日本軍と協力して清郷工作に積極的に活動し、まづ上海、南京間の主要地點から着手し、次第に江蘇全域に成果を擴大しつゝある。一方、國際的には獨伊等の國民政府承認があり、一個の新しい環境に踏み入りつゝある。また新環境に適應するため、行政

機構の改革を實行し、警政部を内政部に、鐵道部を交通部にそれ／＼併合、商工、農林兩部を合併して實業部とし、社會部を廢して社會運動指導委員會に改組する等、行政機構を簡單化、合理化して、各種の政務を活潑に推行させ、行政技術の改善と行政効力の増進とを圖つたのである。

國民政府は重慶の國民黨一黨專制に反對して、各黨各派の連合によつてなつてゐるが、さらに進んで憲政を實施するため、憲政實施委員會を設け、憲法草案の審議を進めつゝある。

また地方行政の整理に努め、一時的に設けた各縣の自治會を解散して、正式の縣政府を回復し、縣長を任命、派遣し、縣長の職責の重大なるに鑑み、現任縣長、縣役人の訓練をも行つてゐる。また治安維持に力を注ぎ、昔の保甲制に倣ひ、各鄉村に保甲制を實施して自衛を整へ、匪患の肅清に努め、そ

の他戶籍の調査、土地の整理、衛生に關する諸設備等を整へて來た。

軍の建設については、陸海空三方面に亘つてみるべき成績を擧げてゐる。陸軍では首都警備隊を旅から師に擴大し、蘇浙皖綏靖軍を改編して第一方面軍とし、各師團部隊（最近孫良誠將軍が和平陣營に投じたことは、彼が馮玉祥の三羽鳥の一人だけに注目すべきものである）の改編を行ひ、また幹部養成のため中央陸軍軍官學校を設立し、千五百人の生徒を收容してゐる。また海軍では任授道が海軍部長を兼任し、日本海軍の協力の下に支那海軍の建設を進め、既に江陰に基地隊を設け、威海衛と廣東に基地部と要港部が設けられ、威海衛の基地部で北支一帶の艦艇を統轄してゐる。艦艇は日本側から譲り受けたほか、新たに砲艇三十隻を建造した。空軍は建設三年計畫を立て、中央空軍學校が昨年十一月に設けられ、百數十

人の學生を訓練中で、最近日本から陸軍機數十架を購入した。

財政方面も還鄉當時は貧窮なもので、各銀行の借金でやつてゐたが、年度末には收支相償ふに至り、昨年十月末には收入三億五千四百萬元、支出三億萬元内外となつた。また税制の整理を行ひ、中央、地方の收支を劃分し、國家及び地方豫算の編成が行はれるに至つた。殊に進捗をみせたのは幣制であつて、昨年一月六日に設けられた中央儲備銀行の發展振りは、前述の通りめざましいものがある。

次に産業方面についてみるに、刻下の最大急務は國民の食糧問題である。そのために、食糧管理委員會を設けて食糧の統制を行ふと共に、一方では大いに増産に努めてゐる。その方法としては、食糧増産の指導に當るべき技術員養成のための農業講習所を設け、或いは適當な場所に稻作松範區を

設けたり、水利を興し、害蟲驅除を講じたたりするほか、各種農作物の生産高の調査をやつたりしてゐる。食糧に次ぐ主要農産物である養蠶の復活に努め、國立原種製造場女子蠶業講習所の設立、蠶種の検査等を行ふほか、林業にも大いに力を入れてゐる。

工業方面では、上海附近は支那工業の中心地で、全國工場半ば以上を有してゐたが、事變により破壊されたもの多く、その他も一時わが軍で管理保護してゐたが、治安の復活と共に漸次工場を復活を見、軍管理工場が返還され、支那人の手に移つたものが少くない。その他各種工場が漸次復活しつゝあり、また主要な日支合辦會社の經營方法も漸次整理が行はれて來た。

其外と共に支那の教育機關も壊されたが、これが復活は二つの意義を有つてゐた。一つは従來の排日教育の排除であり、一つは英米系教會によつて孤

占された形にあつた高等教育を、正しい支那自體のものとする教育主權の回復であつた。そこで、先づ小學校その他の排日的教科書を廢して新しい教科書が編纂され、次に北支において、北京大學及び師範大學、中支においては南京中央大學及び上海大學等の國立大學が復活されて行つた。さらに留日學生を復活し、第一回三十八名、第二回三十名の公費學生が派遣された。中等學校、師範學校の復活、初等教育の復活が行はれ、一時の便法として簡易小學校、短期小學校が設けられた。

思想方面では共和黨、大民會、興亞建國運動本部が自發的に解散を宣言し、孫文の大アジア主義による聯盟が結成され、汪主席が總會長に就任した。かくて國民政府は次第に近代國家としての生長を遂げつゝあり、殊に大東亞戰爭勃發後は、樞軸側の一翼としての任務を盡さんと努めつゝある。



國民政府の外交政策

外交政策の基調

現在の南京國民政府が成立した日、すなはち昭和十五年(中華民國二十九年)三月三十日、同政府は十項から成る政綱を發表して對内對外の根本方針を明らかにした。その中に外交政策に關する次の四項がある。

一、善隣友好の方針に基づき和平外交を以て中國の主權行政の獨立、完整を求め以て東亞永久の和平及び新秩序建設の責任を分擔す。
二、友邦各國の正當なる權益を尊重し、並びにその關係を調整し以て友誼を増進す。

進す。

三、友邦各國と聯合して、國際共產黨第三インターの陰謀及びその他總べての平和擾亂の活動を共同防遏す。
四、友邦各國の資本及び技術による合作を歓迎し、以て戰後經濟の回復と産業の發展を圖る。
元來、十項の政綱は、汪精衛主席及び國民政府當局者がしばしば「言明したところによれば、近衛聲明の三原則、すなはち善隣友好、共同防共、經濟提携に應へて挺身躍起し、和平反共建國を提唱した汪主席の精神を全面的に取入れ、たものである。ゆゑにその中に含まれる四項の外交方針が、わが日本の主張する日滿華提携案を基本的理念として出来上つたものであることは贅言を要しない。換言すれば、日滿華の國交改善を出発點として中華民國の建直しを行ひ、アジアの和平を確立し、新秩序を建設して世界の平和幸福に貢獻しようとするものであつて、國民政府の外交は、皇國と共に國際的情勢に即應善處しようとするところに重點をおいてゐるといはなければならぬ。

しかしそれがその後の國府側の行動の上で、どのやうな形式をとつて表現されたか、それについて數箇の事實

を擧げてみよう。

(イ) まづ第一に抗日政權抹殺の意圖で、國民政府成立直後の四月六日附國民政府令を以て「國民政府はすでに南京に歸還したから、重慶側の公布する對内法令及びその締結するところの對外條約協定契約などは一切無効である。右は行政院より外交部に命じて各國に通告せしめる」と布告し、同時に外交部は列國に對して右の通告手續をとつた。

(ロ) 同年六月十三日、國民政府外交部長は外交部においてアメリカの通信社記者と會見し、當時の日米關係に關する質問に答へたが、その談話は國民政府の對米態度が日華新關係を基礎として展開すべきことを示唆したものと見て注目された。

(ハ) 昭和十九年九月二十日の日獨伊三國條約締結に對し、汪代理主席及び外交部・宣傳部當局者はこれを歡迎し、「彼我提携協力すべきは贅言を要

しない」との意味の談話を異口同音に發表し、國民政府の國際的動向を明白に表示した。

(ニ) 同年十一月三十日、日華新條約が調印され、同時に日滿華三國共同宣言を發表して抗日政權を除く「善隣友好」を具體化し、東亞新秩序の建設に三國が提携邁進することとなつた。この歴史的事態は、大東亞共榮圈の基本的建設ともいふべきもので、東亞の幸福は勿論、さらに進んで世界の幸福がこれから生れて来るものとして、關係國間の大なる喜悅であるのみならず、歐洲新秩序を建設し、永久の平和を確立しようとして奮闘努力中の獨伊その他樞軸側各國が、この三國間の條約・宣言に大なる期待をかけこれを歡迎し祝福した。かくて、それが昭和十六年七月以後における獨伊その他の國政府承認となつて反映し、合計十一ヶ國の承認によつて國民政府の國際的

地位が非常に高くなり、中央政府としての姿が大きく浮び出た。

大東亞戰と外交政策

昭和十六年の末に至り世界史に特筆大書せらるべき大事件が発生した。それはいふまでもなく十二月八日の大東亞戰爭勃發である。この大事件に對し、國民政府は何の躊躇もなくわが國と苦樂を共にし難關突破の決意を明示した。このことに關しては、週報六月十日號の「國府の大東亞戰爭協力」中に詳説せられた如く、汪主席以下當局の態度は確乎不動のものである。殊に八日正午發表の汪主席聲明中に「國民政府は條約の尊重及び東亞新秩序建設の共同目的を實現する見地から、日本と同甘共苦、また確乎不拔の精神でこの難關に臨むに決定した」と述べたが、その中の「同甘共苦」が我が識者に熱意の反射と認められ、その結果この言葉が近

來わが國でしばしば用ひられてゐる。なほこれも六月十日號で引用せられた新國民運動が、國民政府の外交政策とどんな關係をもつてゐるかを少しばかり補足しておきたい。同運動は東亞聯盟や清郷と共に汪主席の最も力を入れたる工作の一つであるが、本年一月一日發表された同運動要綱の第一項は、先づ「我等は何故に民族主義を實現することが出来ないか。それは大アジア主義を忘れたからである」と説き起し「東亞諸國が相互に親愛し、團結して東亞を保護することが、すなはち民族主義の重點である」と結び、國民の覺醒を求めてゐる。

この他にも政府の要人等は、放送・講演・論文を通じて大東亞戦争と東亞防衛・中國復興・同甘共苦など時局を繞る種々の事項を結びつけ、國民は東亞諸民族解放のための戦争であることを了解して、少くとも節約・生産擴充な

どにより、銃後の諸問題に十分協力するやう極力要望してゐる。この點からみても、國民政府の外交政策がどんな性格をもつてゐるかは容易に判明し、國民政府外交政策の一端として取りあげた「新秩序建設への責任分擔」に國民政府が現在もつてゐる能力の限界内でのやうな責任を感じ、可能の範囲内における責任分擔實踐にどれだけ苦心してゐるかが、前記のいろ／＼な事實を通じて大體察せられる。

なほ南京當局は全面和平實現に向つて、行政・軍事・經濟・文化・社會の各部門にそれ／＼物心兩面の精力を傾けてゐるが、全面和平なるものが、一方國內の統一を意味し、他方日華間の戦争状態停止を目標とする大事業であつて、これを推進するには、その前面に二重三重の難關が横たはり、その目的達成には非常な苦心を費さなければならぬ。しかもこれ以外には更生の道

詰りつゝあつて、抗戰陣營から和平陣營に反省歸來する有力者が時と共に増加して來たことがこれを難辯に物語つてゐる。吾人は今後一層信念を固めて既定方針の遂行に邁進すれば、必ず全面和平の成果を收め得ることに少しの疑問もなくなつた。……と事實を基礎とする事態の轉換を傳へ、確信をもてる着實な邁進振りを示してゐる。しかして汪主席以下の要人等は、全面和平に到達して新秩序建設上における任務を分擔しなければ、東亞共榮圈構成の有力な一分子としての資格を持つことが出来ないといふ點を判然と認識し、これを國民に告げて協力を求めてゐることは實に頼もしい。

抗戰重慶の前途

かやうにして重慶側の抗戰が無意味であり、不利であることが、次第に一般民間に認識されつゝあることは、蔽ふべからざる事實に相違ないが、重慶の逆宣傳やこれまでに植ゑ付けられた抗日意識がまだ十分に拭ひ去られない關係から、いま直ちに民衆が悉く和平陣營に参加するとは考へられない。殊に我が國の立場からいへば、堅實な態勢を取るといふ意味で、さうみるべきものである。東部及び南部の海岸地方は、知識情報の兩方面ともに國民政府と行動を共にする便宜可能性が多いが、奥地では民衆が開けてゐない上に重慶側がデマばかり飛ばしてゐる中で、それに迷はされてゐる。

民衆が低いことと時局に關聯して、次ぎのやうな滑稽な話さへある。河北省の片田舎の出來事であるが、一邦人がその地方に旅行した際に、眞珠灣及びマレー沖の海戦について話して聞かせたところが、「アメリカやイギリスの沈没した大艦はあの民船——河に浮んでゐる船を指して——の何倍くらゐの

米本土に深刻な脅威

大本營海軍報道部

帝國海軍の雄渾な東太平洋作戦は、
漸々と進捗し、太平洋の全域は、逐
次わが制壓下におかれつつあるが、六
月十五日には、大本營発表をもつて、
さきに発表されたミッドウェー強襲に
よる戦果に、米甲巡一隻、同潜水艦一隻
撃沈及び撃墜機三十機が追加された。
また十八日には、ダッチハーバー急襲
により敵機二十一機を撃墜すると共
に、敵重要軍事施設の大半を破壊せ
しめたことが判明し、一方、南方にお
いては、六月十三日以来、四日間亘る
ポート・ダーウィンに對する大空襲が

敢行されて濠洲を顔色なからしめた。
さらに東太平洋においては、二十日、
二十一日兩日に亘り、ヴァンクーヴァー
西岸並びにオレゴン州西部沿岸におけ
るわが潜水艦の砲撃は、アメリカ全土
を戦慄せしめてゐる。
次に最近におけるわが海軍部隊の
活躍を概説しよう。

追加戦果

大本營では、六月十五日、さきに發
表されたミッドウェー強襲による戦果
中に、米甲巡サンフランシスコ型一隻

(九五〇トン)及び潜水艦一隻撃沈を
追加し、さらに撃墜した敵飛行機は、
約百五十機であることが判明したと發
表し、また十八日には、ダッチハー
バー方面の戦果中、敵機撃墜機二十一
機のほか、軍事施設の大半を破壊した
ことを追加発表した。従つて右兩方面
における戦果は次ぎの通りとなつた。

◇ミッドウェー方面

- ▼撃沈(四隻)
 - 米空母エンタープライズ型一隻
 - 同ホーネット型一隻
 - 同甲巡サンフランシスコ型一隻
 - 同潜水艦一隻
- ▼撃墜せる敵機、約百五十機
- ▼重要軍事施設破壊
- ◇ダッチハーバー方面
 - ▼撃沈、大型輸送船一隻
 - ▼撃墜せる敵機二十一機
 - ▼軍事施設破壊
 - ▼重油槽二ヶ所大格納庫を爆撃炎上

また外、敵重要軍事施設の大半を破壊
もつて、アメリカ政府は、ミッド
ウェー沖における海戦の大損害をひた
隠しに隠し、國民には「大勝利を得た」
と氣狂ひじみたデマ宣傳を行つてゐた
のであるが、すでに「マカッサル沖の大
戦果」とか、「珊瑚海の大勝利」などと
架空の戦果をふり廻して、國民を瞞着
して馬脚を暴した前例があるので、ア
メリカ國內においても、「ミッドウェー
沖の大戦果」なるものに對しては、半
信半疑の情況にあつたやうであるが、
漸次その真相が判明するにつれて、國
民の憤懣は政府不信の聲となつて現は
れ、軍事評論家のハンソン・ポールド
ウインでさへ次ぎのやうに論じてゐる
のである。

「ミッドウェー海戦の勝利といふが、これ
は決定的なものではない。十日の日本大
本營の発表は公正であるとの印象を與
へた。これにより一般では、太平洋にお
ける眞の情勢を認識し、これからは日本
海軍に先手を打つて、太平洋作戦をリ
ードする大きな機会の現はれることを切望
するに至つた」

また一方、わがアリューシャン列島
諸要點の攻略については、アメリカ當
局は目を蔽ふてゐたが、隠し切れず二
十一日しぶくアメリカ海軍省から始
めて公表したが、あくまで「アリュー
シャンは、軍事的に高く評價する必要
はない」と、負け惜しみを放送して民
心の動搖を抑へんとしてゐるが、ニュー
ヨークの有力新聞は、

「政府は、日本軍によるアリューシャン列
島西部諸要點の占領は、何れ重大でない
といふが、マレー、フィリピン、ニューギ
ニアが、日本軍に攻略された時にも同じ
ことをいつたではないか、アリューシャン
列島が、北太平洋において、最も重要な
ことを忘れてはならぬ」

と、政府攻撃をやつてゐる。このやう

な例によつても、敗戦に喘ぐアメリカ
の苦悶が、はつきり読みとれるのであ
るが、前述のやうに、わが戦果が確認
追加されることによつて、アメリカ當
局の狼狽はいよゝゝ蔽ひ得ないものが
あらう。

海鷲、北濠を連爆

珊瑚海海戦、シドニー強襲等により
濠洲の脅威は、いよゝゝ深刻化するに
至つたが、その後もわが海軍航空部隊
の北濠方面への爆撃の手は緩まず、五
月中旬より六月中旬に亘るポート・モ
レスビー及びブナカウ方面の空襲に
より敵機七十二機を撃墜破といふ戦果
をあげ、さらに、六月十三日から三日
間に亘りポート・ダーウィンを空襲し、
敵機四十六機を撃墜するとともに、敵
殘存軍事施設に大損害を與へた。

西南太平洋方面より全面的に敗退し
去つた敵は、二月十九日以来わが海軍

米加西海岸を砲撃

アメリカの苦悶感ひ得ないものがあるとき、カナダ及びアメリカ本土西海岸が、砲撃されるといふ深刻な脅威に見舞はれ、カナダ、アメリカ本土を極度に狼狽させてゐる。

「日本潜水艦はアメリカ太平洋戦時時間二十一日午後十一時三十分(日本時間二十一日午後三時三十分)と、二十二日午前二時三十分(日本時間二十一日午後六時三十分)の二回に亘り、オレゴン州北西部沿岸の軍事施設を砲撃した。」と発表された。

アメリカの苦悶感ひ得ないものがあるとき、カナダ及びアメリカ本土西海岸が、砲撃されるといふ深刻な脅威に見舞はれ、カナダ、アメリカ本土を極度に狼狽させてゐる。

航空部隊の連爆により、殆んどその機能を喪失しつゝあつた北緯の最前衛基地ポート・ダーウィンを最後の防衛陣として確保すべく、飛行機をはじめ、諸種の軍事資材をあつめて、空海基地としての再建を企圖してゐたのであるが、敵を徹底的に撃滅し盡さねばやまぬ我が海軍航空部隊は、敵の企圖を先制し、増援部隊を撃砕しつゝあるのである。

六月十三日 敵機十二機撃滅のはか、ポート・ダーウィンの東飛行場を砲撃、兵舎、格納庫、軍事施設七、ハケ所に大火災を生ぜしめた。

六月十五日 敵機八機を撃滅、軍事施設十二ヶ所より大火災を生ぜしめた。

最近アメリカ陸軍長官スチムソンは「ミッドウェーの勝利により日本潜水艦のアメリカ本土沿岸に出没する可能性はなくなつた」と豪語してゐたのであるが、これが單なる気休め的な言辭に過ぎなかつたことが、わが潜水艦の米本土砲撃といふ事實によつて證明されたのである。それと同時に、この公表はアメリカ當局が躍起となつて宣傳してゐた「珊瑚海、ミッドウェーの大勝利」なるものが、アメリカ政府のお手盛のデマ宣傳であつたことを、いよいよ米國民の前に暴露したのである。

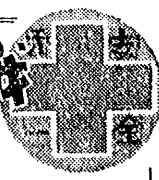
この砲撃によつて、カナダ及びアメリカ本土西海岸一帯の防備の弱體が立證されたわけであるが、最後の対日進路となつたニュー・シヤン列島は、すべてわが制壓下にあり、今また身邊にわが攻勢の脅威を感じるに至り、國民の政府への反感はいよいよ昂まりつゝある。

「ぜられた」と發表し、民心の鎮撫に躍起となつてゐるが、民心は戦々兢兢たるものがあり、一方、大西洋方面においてもドイツ潜水艦の活躍は、いよいよ猛烈をききはじめ、聯合國船艦に致命的な脅威を與へつゝあり、わが海軍部隊による東太平洋への脅威の増大に、アメリカ、カナダの戦慄は、いよいよ深まらざるを得ないのである。

アメリカ太平洋沿岸に對する第一回の砲撃は、去る二月二十三日のカロフォルニア州サンタバーバラ附近、第二回は前述の六月二十日のカナダ、ヴァンクーヴァー、第三回は、六月二十一日より二十二日にかけてのオレゴン州西海岸に加へられた譯であるが、第一回砲撃がルーズヴェルトの「爐

邊談話」の最中の出来事であり、第二回、第三回の砲撃が、ワシントンで進行中のルーズヴェルト、チャーチルの「敗戦會談」の出来事であつたことも皮肉な對照といはねばならぬ。

「支那事變五周年特輯」
△浙東、江西に蔣軍撃滅の戦ひ進む
△北支建設に大きな役割を果してゐる水路とジャンク
△日ごころと月ごころを明けをます國民政府治下
△日ごころと月ごころを明けをます國民政府治下
△南方占領地から
△マレー女とニッポン語
△前線の兵隊さんも時勢進軍
△パタゴニアの千早學校
△タイ國に使用する廣田答禮使節
△女の腕でもしつつかと空を渡る——岡山市の女子防炎訓練



戦時生産 産業安全

大東亞戦争の勃発によつて、いはゆる軍需品の消費が、いよゝ膨大になつて来たことは當然のことです。然るに、これらの軍需品をうんと生産して、戦地の兵隊さんに思ふ存分供給していただくことは、私たち戦後國民、特に全國の産業人の念願であり、希望であります。

そして、この念願と希望は、事實となつて現はれ、優秀な技術と卓越した製品は、米英兩國品を遙かに凌駕して、赫々たる戦果を齎した大きな要因となつてゐます。しかし、戦ひは長期戦です。今後、私達

はますます生産戦に渾身の努力を續ければなりません。物と人の十分でない今日、生産設備と技術者の損傷を出来るだけ少くすることが特に必要であります。ところが、これらの災害は、年と共に増加する一方、職工千人につき大きなやうな数字を示してゐます。

工場の種類	死亡	重傷	輕傷	合計
金属工業	〇六六	三六五	三〇五	六七六
化学工業	〇二二	一〇七	一〇九	二三九
其他	〇一四	三〇五	二〇九	五二八
平均	〇三三	一七二	一五八	三六三

た、設備や原料、材料、製品等が災害のために破壊したり、焼失すれば、生産能力は激減し、結局は一國の戦闘力にも影響して来ますから、大東亞戦争下の今日、災害の防止といふことは、最も重要なことであるわけです。

工場災害は、決して天災ではありません。心から注意して従事すれば、その殆んどが未然に避けられることなのです。それは、工場災害の殆んどが新しい種類のものではなく、すべてが同じ種類の災害の反復であることからも明らかです。

心理的條件などが不注意の原因となつてゐることが多く、特に不衛生、例へば飲酒とか夜更し、家庭の不和等が健康状態の不良、疲労、注意力の不足、感情の興奮等の原因となることが多いのです。

あらゆる災害には直接原因(客観的な分類によるもの)と間接原因(主観的な分類によるもの)を見出すことが出来ます。工場災害にも、工場設備の不備不良、作業環境の影響等に因るものもありますが、災害の原因に自分の不注意とか他人の不注意、不親切等によらないものは殆んどない程で、例へば科学的知識の缺乏または技能の未熟、健康状態の不良とか疲労等の生理的條件、注意力の不足とか感情の興奮等

そこで政府では、災害の防止と産業の安全を目標として昭和四年六月に内務省令を以て工場災害豫防及び衛生規則を施行し、工場を整備すべき災害豫防施設を定め、また、昭和十三年七月に改正し、安全管理者、工場醫および安全委員を選任し、安全委員會を設けることを命じ、物と人の兩方面から安全の目的を達成することにし、安全運動の具體的な方法の一つとして毎年七月一日から一週間を全國安全週間とし、昭和三年以來續けて来てをります。今年には「誓つて安全、責任征戦」との標語を掲げて特に戦時産業安全週間と呼稱してゐます。

この工場の安全化には、安全設備の完備、安全作業の實施、安全規律の厳守、生活の健全化を計ることが大切で、そのためには職場全員が完全に理解し、熱心に協力しなければなりません。

大正年代の初期に始められた我が國の安全運動は、先鞭達の長年に渉る異常な熱意によつて、事變前にはやうやく効果を現はし始めたのですが、事變の勃発は大規模の生産増強となり、職場の急激な擴張は、多数の未経験者を迎へ、また一方、熟練者の應召等によつて人手不足となり、安全教育の不徹底と作業の強行は、工場災害を増加させました。まことに今日ほど産業安全化の必要なことはないものであります。

にめたくぬち勝 を債國

社會受引券證
會 制 統

- 日本銀行引受國債賣捌店
- 日本勸業證券株式會社
- 日興證券株式會社
- 川島屋證券株式會社
- 野村證券株式會社
- 山一證券株式會社
- 藤本證券株式會社
- 小池證券株式會社
- 共同證券株式會社

通風塔

轉業と勞務手帳
私は二、三半ほど
織布工場に機械保
繕工として働いて
いましたが、家庭
の都合で家業を手
傳はねばならなくなりましたので、工場長を通じて工場主に退職願を出しました。工場主は暇はやるが勞務手帳はやれぬと申しますので、仕方なく勤務してゐますが、工場主の態度は正しいでせうか。

ところで世下の勤めてを
られる織布工場の事業は、
「厚生大臣の指定する事業」
の中に指定されてをりませ
んから、たとひ前記の二つ
のやうな事由があるとして
も、事業主は手帳を留置す
ることは出来ません。
體力検査と病氣
私は國民體力法に基づ
いて受檢せねばならぬ者で
すが、病氣のため検査場に
出頭できません。どうした
ら宜しいでせうか。

して約三月位になりま
す。また何んの通知もあり
ませんが、許可認可は一ヶ
月以内に指令のない時は、
許可認可されたことになる
由ですが、實用新案登録願
にも適用されますか。
（告知 登明巻）
特許局の回答「實用新案
登録願には適用されませ
ん。實用新案登録願の受理
されたものは大體、三日
位で願書番號の通知をしま
す。そして實用新案法に基
づいて審査の手續を進める
のですが、受理した願に審
査を進めますので、許され
るかどうかが決定されるに
は、出願の内容によつては
相當の時日を要するものも
あるわけですが、勿論、許さ
れるかどうかは出願人に通
知します。
紙面の都合で詳しくはお
答へ出来ませんが、直接
に特許局宛お問合せ下さ

昭 和 十 七 年 七 月 一 日 發 行	週 報	郵 政 省 情 報 局 東京市麹町區 永田町一丁目一番地 印刷局 東京市麹町區大手町	定 價 一 部 五 錢 （送料一錢） （外國郵便に依る場合は 送料共一圓十錢） ▲預約配達希望の方は「五錢送料一錢」 の額を以て前金を添へ御申下下さい。 ▲特大號の場合は其の部数及び金より送料 を申受け下さり。	申 込 所 全 國 各 地 官 報 販 賣 所 書店・新聞店・驛賣店	御 注 意 ▲本誌より特選の場合は必ず「週報別冊」 の「特選」の頁を明記し、その特選誌を購 購願書に添付し、郵送して下さい。 ▲本誌記事の特選誌は別冊に致し、 別冊記事に對する御希望も購購に關しての 御意見も週報別冊部にお知らせ下さい。 ▲本誌を他へお送りの方は郵費一部一錢
---	--------	---	---	--	--

露光量違いにより重複撮影

露光量違いにより重複撮影

通風

標葉と務務手帳
 厚生省の回答―國民務務手帳法上、一般に務務手帳を返し貰へない場合とは、厚生大臣の指定する事業に使用される従業者であつて、厚生大臣の指定するものが自己の都合で退職したとき、または正当の理由がなくして無効滅し、引續き十四日以上に及んで解雇されたときの二つの場合であります。

ところで此下の勤めてをられる職布工場の事業は、厚生大臣の指定する事業の中に指定されておられますから、たとひ前記の二つのやうな事由があるとしても、事業主は手帳を留置することは出来ません。
 體力検査と病氣
 私は國民體力法に基づいて受検せねばならぬ者ですが、病氣のため検査場に出頭できません。どうしたら宜しいでしょうか。
 (岐阜 安達生)

して約一月位になります。が、まだ何の通知もありません。許可認可は一ヶ月以内に指令のない時は、許可認可されたこととなる由ですが、實用新案登録願にも適用されますか。
 (愛知 野田君)

特許局の回答―實用新案登録願には適用されません。實用新案登録願の受理されたものは、大體、三日位で願書番號の通知をします。そして實用新案法に基づいて審査の手續を進めるのですが、受理した願に審査を進めますので、許されるかどうかは決定されるのは、出願の内容によっては相當の時日を要するものもあるわけですが、勿論、許されるかどうかは出願人に通知します。

紙面の都合で詳しくはお答へ出来ませんが、直接に特許局宛お問合せ下さい。

週報	昭和十七年七月一日發行
編輯者	東京市報局
發行所	東京市報局印刷部
印刷所	東京市報局印刷部
定價	一部 五錢(送料一錢)
注	▲本誌より特許の場合には必ず一週報部宛に ▲本誌より特許の場合には必ず一週報部宛に ▲本誌より特許の場合には必ず一週報部宛に

**勝ちぬめたくに
を債國**

社會受引券證
會 制 統

- 日本銀行引受國債賣捌店
- 日本勸業證券株式會社
- 日興證券株式會社
- 川島屋證券株式會社
- 野村證券株式會社
- 山一證券株式會社
- 藤本證券株式會社
- 小池證券株式會社
- 共同證券株式會社

情 報 局 編 輯

週 報

七 月 八 日 號

生活必需品 動員計畫とは何か

海軍部隊、支那方面の戦果

歐洲戦局の新展開

エジプトの危機

滿身創痕のイギリス

300號

昭和十七年七月八日 第一種郵便物認可 毎週一回水曜日發行

五錢

週 報 は 民 衆 贊 賞 の 道 し べ

ウソと蓄めドンと撃つて！

だんぐわんきつて
戦時郵便貯金切手

毎月八日

大詔奉戴日売出

一枚二四

發行額一千万円(五百万枚)ニ
對スル割増金

一等	千円	二百本
二等	五百円	千本
三等	二百五十円	四万本
四等	一百二十円	四十万本

(當籤割合十一枚ニ付一本ノ割)

週 報 昭和十七年七月八日 第一種郵便物認可 毎週一回水曜日發行

内閣印刷局印刷發行

(判、A5 格規定國はさき大の書本)